

男女共同参画月間記念行事

ふくいきらめきフェスティバル2010

開催日：6月12日(土) 会 場：福井県生活学習館(ユ一・アイふくい)

本年度より、ふくいきらめきフェスティバルが県大会と地域大会に分けて開催することになりました。様々な地域の方々に参加してほしい、それぞれの地域の特色をアピールしていこうという趣旨で今後実施して参ります。

今年の大会テーマは「あなた色 わたし色 あわせて創ろう 未来の色」です。人はそれぞれ素敵な色を持っています。自分の色も尊重しながら相手を理解し受け入れることについて考え、それぞれの色をあわせて未来の色を創ろう、という思いを込めました。

かがやく女性

題字
福井県知事西川一誠
第29号
発行者
(財)ふくい女性財団

基調
講演

講師 田中光敏氏（映画監督）

あなた色 わたし色
あわせて創ろう ふくい色

福井映画祭の特別審査員を務めるなど福井とのつながりが深い田中監督。「自分らしく生きる、映画に学ぶ幸せの法則」を、映画制作現場の映像をスクリーンに映しながらお話いただきました。その法則の一部を紹介します。



◆よい結果は準備次第

全てを想定して準備を整えると、たいていは成功します。よい原因にはよい結果があります。

◆本気なら言葉に出して言いましょう

口から出た言葉は実現していきま
す。まわりにいる人たちが夢物語で
なく現実のものとして、それに向か
っていきます。だから言葉を大切に
しましょう。

◆理屈ぬきで、まず動いてみる

迷うなら、まず行動してみましよう。行動すれば必ず結果がでます。一歩踏み出さなければ何も始まりません。

◆かけがえのない一瞬としての
出会い

出会いは一回限りで、同じ形での出会いは二度とありません。縁がなければ出会えなかったそのときを、かけがえのないものとしてとらえましょう。

◆心の底から聴く

耳は聞こえても、相手の心の声が全く聞こえない人がいます。自分の感情が第一で、相手の気持ちを理解できないのです。話を聴く態度の中に、相手を裁く気持ちが見え隠れしていないでしょうか。それでは相手の心は閉ざされてしまいます。

◆ 雨を喜ぶ

雨が降つたと言つては嘆き、寒いと言つては不平不満、夏の暑さも氣に入らないというような、不満が習慣になつてゐる人が多くなつてゐます。こんな習慣は早くやめて、マイナスのことが起きたらプラスに考えましょう。

◆最後に

映画はたくさんの方の手に支えられて創られています。会社やまちづくりも同じです。皆さんがどう描きたいのか、皆さんひとりひとりの思いがひとつになったとき、すばらしいまちになるのではないのでしょうか。

＊基調講演の後、午後の文化講座の一つとして映画の舞台裏のお話もありました。

企
画
展
示



渡辺弘子さんは、美浜町早瀬の漁師町に住まれ、地区に残る古網や古布を使つて漁村の風景や漁の

様子。伝統行事や身近な暮らしを独自の手法でほのぼのとした布絵で表現しています。制作数は100点を超え、全国創作壁掛コンクール入選、県知事より「村の達人」に認定、また福井県野の花文化賞を受賞されました。



渡辺弘子 布絵展「海に生かされて」



渡辺弘子 布絵展「海に生かされて」

✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱
✱

藤島神社の宝物庫から昭和13年の学童画や書が発見されました。当時の時代背景や暮らしなどが色鮮やかに描かれており懐かしさとともに歴史を経て、今私たちがいることを考えるコナーとなりました。

新田公六百年記念全国小中学校国画成績帖
藤島神社蔵



戦前(昭和13年)の学童絵画展



戦前(昭和13年)の学童絵画展

ふくいきらめきフェスティバル2010

企画講座

◆子育てトークング

「自分発見で、楽しい子育てにトライ！」

講師 熊谷香菜江氏(光陽生協病院カウンセラー)

エゴグラム(性格診断テスト)の結果を見ながらいろいろなタイプの説明を聞き、対応の仕方を具体的に学びました。また、参加者の子育て経験談や悩みをざっくばらんに話し合いながら講師のアドバイスを聞くことができ、今後の子育てに活かせる、とても有意義な研修だったと多くの参加者に喜んでいただきました。



◆親子科学体験教室

「ホバークラフトに乗ってみよう！」



ワークショップ



ヒマワリ栽培を始めた“芦見に花を植えよう会”と里山保育を実施している“岡保育園”の事例発表による「活力ある地域づくり」では、マインドマップ方式で様々な意見を出し合い、それぞれの問題点の解決法を話し合いました。「自ら考え責任もって行動を～男女共同参画都市宣言をして～」や、「男女みんなが主役で社会づくりを～男女共同参画プラン改訂にあたって～」では、多くの参加者が熱心に学び、たくさんのご意見をいただきました。



自ら考え責任もって行動を



男女みんなが主役で社会づくりを



活力ある地域づくり

◆エコものづくり講座&環境体験学習講座

「ワラを使って編んでみよう！」

「“森”づくりのお話」「ホテルものがたり」

講師手づくりの編み機を使って、きれいに防虫処理されたワラで敷物を楽しく編んでいきました。遠方からの参加者は時間が間に合わないということで材料を持ち帰るほど、魅力的な講座でした。

また、幅1メートル程の大きな紙芝居で“森”と“ホテル”のお話を子どもから大人までじっくり聞き入り、環境保全を考えるきっかけとなりました。



ワラを使って編んでみよう！



“森”づくりの紙芝居

◆健康講座 「心と体のリフレッシュ」



その他企画



★オープニング

「フルートアンサンブル
笛乙女」

★ソーラーカーの展示

★わが町自慢コーナー
ふれ愛バザー

★団体活動展

★共同参画展

★文化講座作品展

ふくい女性のつどい実行委員会



ふくい女性財団理事長が実行委員長となり、加盟48団体と、公募の企画委員(県大会6名)とが実行委員会を組織して開催しています。

今年度から、県大会と地域大会の2大会開催することになりました。今年度の地域大会は、さかい地域で開催となりました。大会当日の様子は、次号でご紹介致します。

テレビPR出演では、
かわいいパンダちゃんも
登場しました！



◆企画委員会◆

企画立案・出演
交渉・PR活動・運
営と、企画委員一
人ひとりの個性
と知恵と力が結
集して、すばら
しい大会となりま
した。

いま輝いています (加盟団体活動紹介)

新日本婦人の会福井県本部

会長 辻 照子

「核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ります」を、一番の目的に掲げ、男女平等、生活の向上、子どものしあわせなど、幅広い女性の要求実現にむけた運動をすすめ、創立48年になります。

03年には、国連の特別協議資格を持つNGOとして、海外の女性たちとの交流も広がっています。

5月に国連で開かれたNPT(核不拡散条約)再検討会議での、ニューヨーク行動には福井の会からも5人の代表が参加し、会員が集めた「核兵器のない世界へ」の署名を、全国の仲間たちとともに、国連へ提出しました。核兵器廃絶は、いまや世界の流れになっています。

また、若い世代、子育て中のママたちの要求にそった、赤ちゃん・親子リズムサークルがあります。これからも楽しいサークル活動と運動をさらに広げていきます。



NPT再検討会議・ニューヨーク行動

敦賀ファミリーサービスクラブ

会長 田中智恵子

本会は地域会員の相互援助活動組織として発足し、今年で結成22年を迎えました。

近年、核

家族化や高齢者の一人暮らしなどにより、家族間での問題対応が難しくなっています。そんな中、家事手伝い、話し相手、乳幼児の世話、急な残業時の託児・送迎など、様々な依頼をサポートしております。

長年活動しているサブリーダー達が、依頼内容、依頼者の家庭環境を把握・考慮しコーディネートする中で、提供者も安心して働けます。また、会員は調理・育児・介護法などの研修会に参加し研鑽しております。

今年は利用者のニーズを少しでも正確に把握し、助け合いの輪を広げたいと、市内の保育園保護者を対象としたアンケートを実施しました。

依頼者も提供者も同等の立場で知恵と愛情を出し合い、地域社会が温かく大きな家庭としての役割を担えるよう、少しでもお手伝いできればと頑張っています。



講義と実技研修の様子

大野男女共同参画ネットワーク

会長 長谷川佳子

男女共同参画による

地域づくりをめざして

平成3年7月に、大野市内各団体、グループが協調や連結し合い「女性の地位向上や社会参加」を目的として大野女性ネットワークが結成されましたが、その後時代の変化に伴い性別にとらわれない多様な生き方、男女が素敵に生きることができるよう地域社会を目指すために、大野男女共同参画ネットワークと改めました。先進地視察研修や学習会を行う傍ら、日本女性会議などに参加して会員研修を重ねています。また、平成19年から大野市民対象に女と男が快適にくらせる地域づくりのために、「講演会」「学習会」を各1回ずつ開催しています。本年度は9月23日に「ささえあおう、子育てと自分育て」という演題で広岡守穂先生の講演会を開催致しました。

大野男女共同参画ネットワークも

今年で19年目を迎えます。

更なる会員の研修を重ね、地域社会づくりに貢献できればと思っています。



昨年度講演会の様子

平成22年度 ふくい女性財団年間事業

- 各種講座・研修
 - ネットワークリーダー研修会
 - 県内6地区で順次開催
 - 男女共同参画セミナー
 - 女と男が輝く未来塾
 - 健康講座
- その他
 - 情報収集提供(機関紙、ホームページ)事業
 - 女性団体活動支援事業
 - 全国大会参加旅費または講座等開催経費の一部補助
 - 情報交換会(市町ネットワーク)
 - 新年のつどい
 - 育児と仕事の両立支援事業
 - ファミリーサービスクラブ事業
 - 病児・緊急預かり対応基盤整備事業(厚生労働省受託)
 - ふくい仕事と子育て応援ネットワーク事業(独)福祉医療機構受託)
 - チャイルドルーム運営事業
 - 男女共同参画ポータルサイト運用事業
 - 配偶者暴力(DV)被害者自立支援事業
 - 文化講座事業
 - 女性のつどい事業(ふくいきらめきフェスティバル)

おめでとうございます

男女共同参画社会づくり功労者

□知事表彰

〈個人〉

重久 博子 (福井市)

嶋田 清子 (勝山市)

新郷りう子 (坂井市)

西 美佐子 (おおい町)

(五十音順・敬称略)

〈団体〉

まろく参画一座(越前町)

南越前町男女ネットワーク(南越前町)

ネットワーク
交流会

交流しました！

越前町男女共同参画ネットワーク

会長 木村道子

7月15日(火)、

みはまネットの提案で、越前町生涯学習センターにおいて、みはま女性ネットワークと越前町男女共同参画ネットワークが交流会を実施しました。



両ネットの概要説明のあと、問題点や課題について話し合い、男女共同参画社会の推進には男性の団体・グループの加盟が欠かせないということが共通の意見でした。「まず、事業に男性を誘うことから始めたら。」という男性理事からの提案もありました。

また、みはまネットの松田町議の話を聞いて、「羨ましいね。」と思わずため息をつく越前ネットの理事もいました。みはまネットの事業で町長や行政担当者と語る「ハートフル対話」は、非常に興味深く是非、越前ネット



もやるべきだという意見も出ました。8月に実施する条例学習会を展覧させて、このような事業も展開していきたいと思っています。

財団法人ふくい女性財団 役員紹介 (*網掛けは新役員)

理事長	水上 幸 衛	福井県漁協女性部連合協議会長
副理事長	山 崎 栄 一	福井男女共同参画ネットワーク代表
	野 田 美智子	さかい男女共同参画ネットワーク会長
専務理事	定 池 りゆ子	(財)ふくい女性財団事務局長(9月13日就任)
理 事	瀬 脇 一	福井県総務部長
	今 富 廣 子	福井県生活学習館長
	齊 藤 博 子	福井県食生活改善推進員連絡協議会長
	小 林 年 子	福井県生活学校連絡協議会長
	海 道 洋 子	福井県保育士会長
	天 野 寿美恵	つるが男女共同参画ネットワーク会長
	長谷川 佳 子	大野男女共同参画ネットワーク会長
	長谷川 淳 一	越前市男女共同参画ネットワーク代表
監 事	木 村 道 子	越前町男女共同参画ネットワーク会長
	三 輪 隆 三	福泉信用組合専務理事
	田 邊 とよ子	元(財)ふくい女性財団副理事長
評議員 (五十音順)		
	天 谷 祥 子	(学)天谷学園理事長
	荒 井 紀 子	福井大学教育地域科学部教授
	加 藤 澄 子	学識経験者
	北 島 三 男	福井新聞社 論説委員長
	大 正 光 子	(学)大正学園理事長
	堂 田 英 治	(財)福井県文化振興事業団専務理事
	宮 越 洋 二	医学博士(産婦人科専門医)
	和 田 秀 美	福井労働局雇用均等室長
常任企画運営委員		
委員長	大木下 美智子	あわら市男女共同参画ネットワーク会長
副委員長	櫻 尾 智恵子	福井県民生活協同組合
委 員	下野谷定枝、花谷美智子、米村美智子、巳寅 令子、佐々木福子、鈴木佐智江、高屋 勝一、西 芳子、森久みどり、徳庄よし子	

編集後記

今回は、本年度新しくスタートした「きらめきフェスティバル」2大会のうち、県大会を中心に編集しました。各会場での参加者のみなさんの熱意や真剣味を感じていただければありがたいです。

発行者 (財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)2階
TEL 0776-41-4254 FAX 0776-41-4260
E-mail fujho-zai@cnr.ne.jp
URL http://www.f-jhosei.or.jp

求められる地域コミュニティ！

副理事長 山崎栄一

“郷土に錦をかざる。”ということばがありますが、その時、郷土が豊かでなければ、ふるさとに郷愁や愛着をもつことは出来ません。郷土そのものを錦にすることが、郷土に錦をかざるという意味だそうです。“次郎物語”をお書きになった下村湖人先生の一節です。

今、地域に新しいコミュニティが、求められています。家族と家庭そして地域と職場、形態も含めて、ひとりひとりの絆が見直されています。

わたしは、ふくいが大好きです。この一年を皆様とともに頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

平成22年度 役員紹介

就任にあたって

副理事長 野田美智子

日頃より、当財団の事業・活動等にご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

この度、経験も実績も無い、不肖私が副理事長の重責に就任する事になりました。戸惑いと驚きそして不安な気持ちで一杯です。右往左往するばかりで迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、水上理事長をはじめ皆様方の寛大な御慈悲のもとご指導を授かりながら、しっかりと努めてまいれる所存でございます。

さらなるご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。先日の「きらめきフェスティバル2010さかい大会」が大盛況のうちに終える事ができました。皆様のご支援に対し、さかい・あわら両ネットワークを代表して、心から御礼申し上げます。有難うございました。